

ほかふれフェスタ参加グループ訪問記

ホップ



ヒップホップやストリートダンスを

楽しむサークル

“S.N.D.F.”を訪ねて

ボランテニア協会でも

お馴染みのみなさん！



7月8日(木)最寄駅は相模線原当麻駅になる麻溝公民館で、ダンススクール“S.N.D.F.”の練習にお邪魔した。約束の夕方6時を少し回っていたので、すでに元氣一杯に踊っていた。一汗かいたところまで中断してインタビューに応じたかった。

まず名前の由来を伺って、代表の倉増静さんの愛称「静ねえ」の頭文字のSNDを、後はダンスとファミリーの頭文字をとって“S.N.D.F.”と名づけたそうだ。例えばそうなのかと納得するけれど、それにしてもニックネームからこの頃は、ずいぶんユニークなネーミングだと感心！

結成18年になり、麻溝と陽光台の公民館を中心に倉増さんを含め5人の指導者のもと、年齢は幅広く3歳から大人までで、今は16グループある。先生の専門ジャンルによって、ヒップホップダンス、ジャズダンス、ブレイクダンス、Kポップ、フリースタイルなどとクラス分けしている。



笑顔が素敵な代表の倉増静さん

今日はフリースタイルの初級クラスで、小学5年生が4人、中学1年生が一人という構成だ。



コロナ禍で公民館が8時までしか使えないため、練習が十分できないのが頭の痛い所。指導者でもめる倉

増さんが自然と下級生の面倒をみるようになる。下級生も上級生を慕って学年を超えた交流が生まれている。

家に帰ると疲れて宿題ができないなんてことはありませんかと聞いてみると、みんないっせいに「そんなことはない！」と口をそろえて否定。先に済ませるか、帰ってからきちんとやっていることで、愚問でしたね！

「お母さんに連れてこられて、友達に誘われた」が多かった。学校で嫌なことがあっても踊ればたちまち吹っ飛んでしまうし、友達が増えたというのが共通の感想だった。

倉増さんに指導に際して心がけていることを尋ねると、「楽しむのがモットーですね。子どもたちが毎回楽しんでる姿を見て、逆に元気を貰っているんですよ。自然と浮かぶ笑顔を大事にしています」と話される眼差しがとても優しく魅力的な方だと感じた。生徒さんたちにもダンスをすすまっかけを聞くと、「お母さんに連れてこられて、友達に誘われた」が多かった。学校で嫌なことがあっても踊ればたちまち吹っ飛んでしまうし、友達が増えたというのが共通の感想だった。

*S.N.D.F

代表 倉増 静
メール sndf-731@ezweb.ne.jp
HP http://sndf10.jimdo.com/



~ SNDFレッスン情報 ~

レッスン代 各クラス共通 (90分月3回)
⇒まん延防止期間中1レッスン50分

月謝 3000円 (入会金無料)

*元氣なシニア向けにはシニアストレッチクラスが！

火曜日 15:30~16:30 (陽光台公民館)

⇒まん延防止策期間中は 15:00~15:50

木曜日 15:30~16:30 (麻溝公民館)

⇒まん延防止策期間中は 15:30~16:20



《耳より情報》
SNDFダンス発表会
10月31日(日)
午後2時~
あじさい会館で



(恒藤・山崎)

増さんの娘さんと息子さんが、たまに勉強会もやっていると聞いた。何ったよつすから、ダンスファミリーの名の通り、メンバー全員が家族みたいなまことにアットホームな雰囲気こそが長く続けてこられた秘訣なのではないか。これからのますますの活躍に大いに期待したい！